

上級医療情報技師の 到達目標の概要

日本医療情報学会 医療情報技師育成部会

上級医療情報技師とは？

- 保健医療福祉の質と安全の向上のために、幅広い知識と豊かな経験を背景として、全体最適の観点から保健医療福祉分野の情報化と医療情報の利活用を総括的に推進できる医療情報技師

【解説】上級医療情報技師には、医療情報技師としての知識と経験を活かし、全体最適の観点から保健医療福祉分野の情報化と医療情報の利活用を推進できる能力が求められます。そのなかでは、医療情報技師に求められる3C(Communication, Collaboration, Coordination)の資質に加えて、リーダーシップとマネジメント力を発揮し、医療現場の課題を論理的な思考に基づいて解決できる実践的な能力が必要となります。

到達目標（GIO・SBOs）

- 一般目標群（GIOs: General Instructional Objectives）は、学習を修了した際に身につけていることを示したものであり、行動目標群（SBOs: Specific Behavioral Objectives）はそれぞれの一般目標を達成するために、学習者は具体的にどのようなことができればよいかを階層化して整理したものです。
- これらの能力について一定基準を満たしたときに、上級医療情報技師としての能力を修得していると言えます。

一般目標：GIO

- 1 施設管理者層からの要求を引き出して、本質的な内容を理解し、現場の要求を考慮しつつ解決策を立案できる能力を修得する。
- 2 医療機関における情報システムのライフサイクル（企画、構築、運用、保守）を統括し、そのために必要となるチーム内・チーム間のマネジメントができる能力を修得する。
- 3 保健医療福祉分野におけるデータの管理と分析・利活用ができる能力を修得する。
- 4 論理的に物事を考え、その内容を適切に相手に伝えることができる能力を修得する。
- 5 情報処理技術を理解し、活用できる能力を修得する。
- 6 情報セキュリティについて理解し、対策を講じることができる能力を修得する。
- 7 幅広く保健医療福祉分野などに対する知識を修得する。
- 8 ユーザ教育や人材育成を主導的な立場で実践できる能力を修得する。

GIO・SBOs、キーワード

項目	SBOs (行動目標群)	キーワード
3	保健医療福祉分野におけるデータの管理と分析・活用ができる能力を修得する。[GIOs]	
3-1	質の高いデータの集積環境を提供できる。	
3-1-1	データの信頼性を保つためのルールと運用について説明できる。	データの信頼性、データの蓄積、データ登録時チェック、データ集積時チェック、第三者チェック、がん登録、院内がん登録
3-1-2	業務で使用するデータベースを企画立案できる。	データマート、データベース構造、構造化データ、非構造化データ
3-1-3	データの二次利用を行うための仕組みを企画立案できる。	DWH(Data Warehouse)、データマート、BI(Business Intelligence)、ETL(Extract, Transform, Load)、OLAP(Online Analytical Processing)
3-1-4	データウェアハウス (DWH) の構築方法の概要を説明することができる。	データウェアハウス、DWH、データベース構造、データマート、標準化マスタ、構造化データ、非構造化データ
3-2	データを安全に管理できる。	
3-2-1	データの安全管理方法の知識を有しており、適切にシステムを運用できる。	クラウドコンピューティング、クラウドサービス、クラウドサービスプロバイダー、パブリッククラウド、プライベートクラウド、データセンター、オンプレミス、SaaS(Software as a Service)、PaaS(Platform as a Service)、IaaS(Infrastructure as a Service)、メインフレーム、分散システム、オープンシステム、レンタルサーバー
3-2-2	種々データの機密性の違いに基づいてデータを適切に取り扱うことができる。	コホート研究、オミックス情報、個別医療、ゲノム医療、ヒトゲノム、個人情報保護、がん登録、院内がん登録、がん診療連携拠点病院、マイナンバー
3-3	データの分析・活用ができる。	
3-3-1	蓄積されたデータの活用技術を例示し、それぞれの特徴や留意点を説明できる。	ビッグデータ、NCD(National Clinical Database)、データサイエンス、エンテイス、マーケティング、コホート研究、オミックス情報、がん登録、院内がん登録

■ 一般目標 (GIO)
上級医療情報技師が修得すべきことを、一般目標として8つのGIOを示しています。

■ 行動目標群 (SBOs)
GIOに基づいて到達すべき具体的な目標を、各GIOに3~8の行動目標 (SBOs) として示しています。

■ GIO・SBOsの内容より、学習に必要な内容をさらに具体的にイメージしやすいように、代表的なキーワードとして示しています。

医療情報技師育成部会ホームページ > 上級医療情報技師能力検定



一般社団法人 日本医療情報学会
医療情報技師育成部会
Japan Association of Medical Informatics
Healthcare Information Technologist Certification

HOME 事務局ご案内 各種書類 公報情報 各種出版物 関連リンク サイトマップ English

上級医療情報技師
ご案内
到達目標
実施概要
試験申込
試験結果
試験統計

トップ > 上級医療情報技師 > 到達目標

上級医療情報技師の到達目標 2016年5月16日更新

上級医療情報技師には、医療情報技師としての知識と経験を活かし、全体最適の観点から保健医療福祉の情報化と情報の利活用を推進できる能力が求められます。そのなかでは、医療情報技師に求められる3C(Communication, Collaboration, Coordination)の資質に加えて、リーダーシップとマネジメント力を発揮し、医療現場の課題を論理的な思考に基づいて解決できる実践的な能力が必要となります。

日本医療情報学会 医療情報技師育成部会では、上級医療情報技師に求められる能力を体系化することを目的として、上級医療情報技師の一般目標及び行動目標群 (GIO・SBOs) を策定しました。この到達目標は、今後の能力検定試験や育成・生涯研修等に反映していく予定です。

到達目標

上級医療情報技師の一般目標及び行動目標群 (GIO・SBOs) ver.1.0

DOWNLOAD

※ ダウンロードしてご確認ください。

上級医療情報技師 検定試験改正と背景

詳しくは、今後掲載する「上級医療情報技師能力検定試験 試験実施概要」をご確認ください。

日本医療情報学会 医療情報技師育成部会

一次試験の変更箇所

	午前	午後 I	午後 II
出題形式	マークシート方式	マークシート方式および記述方式	小論文試験
時間	10時30分～11時30分 (60分)	12時50分～14時20分 (90分)	15時～16時30分 (90分)
出題領域	上級医療情報技師のGIO・SBOsに合致する基礎的な内容 一部、時事・英語・マネジメント関連等の問題も出題	上級医療情報技師のGIO・SBOsに合致する内容 記述式問題には長文問題 図表を読み解く課題、計算・英語・長文の解答を行うものを 出題	従来の二次試験1日目の論文2程度を想定（経歴・経験を問うものではない）

一次試験の判定基準

午前、午後 I、午後 II すべての試験の合格をもって一次試験の合格とします。
午前、午後 I 試験で判定基準に満たない場合は、午後 II 試験の採点は行いません。
したがって午前、午後 I 試験のみ合格はありません。

二次試験の変更箇所

試験内容: 面接試験

試験会場(予定): 東京、大阪

(いずれかの会場を選択し受検いただきます)

(同一年度に東京・大阪の2会場で受検はできません)

試験日時(予定)

東京: 12月第一週の日曜日

大阪: 12月第二週の日曜日

検定料: 15000円

合格後の認定料: 合格時の認定料は無料

(更新時の認定料10000円は従来通り)

面接試験では評価方法に基づいた判定とともに、提出いただいた各種書類もあわせ、総合的に合否を判定します。

以下については、変更ありません

〈受検資格〉

以下のいずれをも満たすこと

1) 医療情報技師の資格を有すること

2) 一次試験日において次のA、Bのうち、いずれかを満たすこと

A. 医療情報システムに関する5年以上の職務経験を有すること

B. 情報システムに関する5年以上の職務経験を有し、かつ医療情報システムに関する職務経験(期間は問わない)を有すること

※ 本試験には高い現場経験が求められますので、
ご承知おきください。

一次試験

〈試験日時〉医療情報技師能力検定試験と同日に実施

〈試験会場〉医療情報技師能力検定試験と同じ

〈検定料〉15000円

〈合格者保留制度〉一次試験の合格は2年間(合格年を含めると3年間)有効

〈旧制度一次試験合格者の扱い〉

旧制度で一次試験を合格した方は、旧制度の二次試験(論文1、論文2、面接)を受検いただきます。

対象者:旧制度一次試験合格者

例)2018年度:2016年、2017年の一次試験合格者が対象

2019年度:2017年度の一次試験合格者が対象

試験日:(予定):12月の第一週の土・日

試験会場:東京

試験内容:論文試験(論文1、論文2)、面接試験

試験関連費用も従来通りとなります

二次試験:10000円

認定料:10000円(更新時の認定料も10000円)

※旧制度の合格保留者が新制度の試験を申し込んだ場合、旧制度の合格保留は取り消します。